

平成 15 年 3 月 19 日

経済産業省 製造産業局長
今井 康夫 殿

社団法人 日本電機工業会
会 長 谷 口 一 郎

変圧器等への微量 PCB の混入可能性に関する調査について（中間報告）

平成 14 年 7 月 12 日付製造産業局長通達（平成 14・07・11 製局第 2 号）、および平成 14 年 10 月 18 日付製造産業局長通達（平成 14・10・17 製局第 2 号）を受け、当工業会および該当 15 社では、微量 PCB の混入可能性に関する調査および過去の微量 PCB 検出事例に関する調査等を実施しておりますが、これまでの状況を下記のとおりご報告いたします。

1. 微量 PCB 検出事例について

サンプル調査の過程ならびにユーザーからの連絡等により、平成 14 年 10 月 1 日から平成 15 年 2 月 28 日までに以下の 17 社から新たに 944 台の微量 PCB 検出事例の報告がありました。したがって、これまでに連絡を受けた微量 PCB 検出事例の総数は 1,356 台になりました。

17 社の内訳は、過去に検出事例がありました愛知電機、指月電機製作所、ダイヘン、高岳製作所、中国電機製造、東芝、東北電機製造、日新電機、日立製作所、富士電機、北陸電機製造、三菱電機、明電舎から再度検出事例の報告があるとともに、混入可能性が否定できないためサンプル調査を実施していた東光電気から新たに報告がありました。更に、北芝電機、西島電機製作所、松下産業機器の 3 社の機器から微量 PCB が検出されたとユーザーから報告があったものです。

なお、北芝電機、東光電気、西島電機製作所、松下産業機器の 4 社は、新たに微量 PCB が検出されたことから、速やかに原因解明に努めるとともに、関連ユーザーに対し遅滞なく情報提供を行っています。また、原因解明にあたっては、先行している企業と協力しながら調査を実施しています。

《新たな検出事例（10 月 1 日から平成 15 年 2 月 28 日迄）》

事例報告企業	機 種			計	P C B 検出値 (ppm)
	変圧器	コンデンサ	その他		
愛知電機	25	—	—	25	0.6~32
北芝電機	8	—	2	10	0.6~150
指月電機製作所	—	1	—	1	7.9
ダイヘン	72	—	1	73	0.5~510
高岳製作所	86	—	6	92	0.5~32.1
中国電機製造	14	—	—	14	0.6~75
東光電気	7	—	39	46	0.6~42.4
東芝	40	—	6	46	0.31~39.2
東北電機製造	17	—	—	17	0.7~53.7
西島電機製作所	3	—	—	3	0.7~6.6
日新電機	8	4	17	29	0.5~54
日立製作所	31	—	23	54	0.5~7.6
富士電機	319	—	—	319	0.5~708
北陸電機製造	13	—	—	13	0.7~9.0
松下産業機器	9	—	—	9	0.6~15
三菱電機	123	—	27	150	0.1~80.0
明電舎	35	—	8	43	0.51~51
計	810	5	129	944	

2. サンプル調査状況について

微量 PCB の混入可能性に関するサンプル調査および過去の微量 PCB 検出事例に関するサンプル調査については、該当各社で計画通りに進められています。

現在、サンプル調査の結果および各ユーザーからの報告等で得られたデータについて、原因解明に向けたデータの詳細な分析・評価およびこの情報をもとに再度、製造工程、絶縁油の取り扱い等について確認している状況であり、検討結果がまとめ次第、報告の予定です。

なお、昨年 10 月 17 日付の中間報告では、「原因解明についての検討結果を年度末までに報告の予定」としていましたが、サンプル調査の結果および各ユーザーからの報告等をいただいた検出事例の分析を進めたところ、新たな機器にも検出事例が出てきたため、これらを含めた原因解明のため、過去の記録にさかのぼった調査、調査対象範囲の拡大などを行っている関係上、調査時間が当初予想以上にかかっており、年度内のとりまとめが 1～2 ヶ月程度遅れていますので、ご報告致します。

今後も、原因解明および対応策につき検討を進め、ユーザーへの情報提供に努めてまいりますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

添付資料：

- (1)：微量 PCB の検出事例総数
- (2)：変圧器等の製造年別にみた微量 PCB 検出事例の分布